

区分49	専門分野 生理学的検査	授業科目名	臨床生理検査学実習 (循環器)	単位数	2単位 (60時間)
開講時期	2年 前期	担当教員	松田 一之	担当教員の 実務経験	有・無
◆実務経験の内容 1982年～長崎市立市民病院にて、病理検査、輸血・移植検査、免疫検査、微生物検査、緊急検査業務など検体検査全般を担当。 1997年～長崎市立市民病院にて、循環器系検査、神経・筋機能検査、呼吸器系検査、感覚機能検査、画像検査など、生理機能検査全般を担当。2010年～長崎みなとメディカルセンター(旧長崎市立市民病院)にて、臨床検査部技師長業務の傍ら超音波検査など生理機能検査全般を担当。2015年～長崎みなとメディカルセンター事務部にて、診療報酬関連、病院経営管理などを担当。以上、39年間の病院勤務実績あり。					
◆授業の目的・目標 ・心電計の準備、設定ができ、アーチファクトに対応できる。 ・各種心電図検査について説明することができる。 ・標準12誘導心電図を正確に速やかに記録し、判読することができる。 ・緊急性が高い異常心電図を速やかに報告することができる。 ・運動負荷心電図、ホルター心電図を安全に測定し判読することができる。					
◆授業の概要・授業方針 ・標準12誘導心電図、運動負荷心電図、ホルター心電図の座学と実習を行う。 ・座学は国家試験に対応した内容とする。 ・実習は臨地実習に対応した内容とする。 ・小テストを4回に分けて実施する。(①心電図の基礎、②異常心電図判読、③心電図実技、④運動負荷・ホルター心電図)					
◆テキスト・参考資料等 ・最新臨床検査学講座「生理機能検査学」第2版 (医歯薬出版) ・必要に応じて資料を配布する。			◆成績評価の方法 ・小テスト25点×4回		
授業計画					チェック欄
第1回	循環器系検査の基礎(心臓、心周期、血管)				
第2回	刺激伝導系と心電図波形の成り立ち、心電図波形の計測				
第3回	標準12誘導心電図の誘導法と読み方、電気軸				
第4回					
第5回	心電計の構成、アーチファクト対策				
第6回	小テスト①(心電図の基礎)				
第7回	異常心電図(不整脈)判読と対応				
第8回					
第9回	"				
第10回					
第11回	異常心電図(虚血性心疾患)判読と対応				
第12回					
第13回	"				
第14回					
第15回	異常心電図				
第16回	小テスト②(異常心電図判読)				
第17回	標準12誘導心電図実習(準備、患者説明、電極装着、結果の判読)				
第18回					
第19回	"				
第20回					
第21回	小テスト③(心電図実技)				
第22回					
第23回	マスター運動負荷心電図				
第24回	マスター運動負荷心電図実習(準備、患者説明、結果の解釈)				
第25回	トレッドミル運動負荷心電図				
第26回	トレッドミル運動負荷心電図実習(準備、患者説明、中止徴候、結果の解釈)				
第27回	ホルター心電図・その他心電図				
第28回	小テスト④(運動負荷心電図・ホルター心電図・その他心電図)				
第29回	国家試験対策				
第30回					